

## ～ 平成31年度都立高校入試の平均点を振り返る ～

6月下旬に、東京都教育委員会から『平成31年度都立高校入試に関する調査報告』が発表されました。下表は教科別平均点です。平均点が増加した科目としては、国語で+5.1点、理科で+5.6点でした。平均点が減少した科目では、数学で-4.2点、英語で-13.6点、社会で-8.8点でした。英語、社会の減少が特に大きいことがわかりますが、平均点を下げた要因は何だったのでしょうか。今回はそんな英語と社会について分析しました。

## 教科別平均点

教科	国語	数学	英語	社会	理科
H31年度	71.0点	62.3点	54.4点	52.7点	67.1点
H30年度	(65.9点)	(66.5点)	(68.0点)	(61.5点)	(61.5点)

## 英語の問題別正答率

大問	小問	小問正答率		大問正答率		
		H30	H31	H30	H31	
1	A	対話文1	84.5%	<b>50.3%</b>	72.6%	<b>50.1%</b>
		対話文2	84.6%	<b>69.0%</b>		
		対話文3	86.3%	<b>73.9%</b>		
	B	Question1	73.3%	<b>37.7%</b>		
		Question2	33.2%	<b>19.5%</b>		
2	1	50.1%	<b>62.0%</b>	62.1%	<b>53.8%</b>	
	2	79.0%	<b>38.7%</b>			
	3	(1)	72.6%			<b>56.9%</b>
		(2)	46.6%			<b>57.6%</b>
3	問1	75.6%	<b>40.2%</b>	71.7%	<b>50.1%</b>	
	問2	73.6%	<b>61.1%</b>			
	問3	80.7%	<b>42.6%</b>			
	問4	66.2%	<b>66.8%</b>			
	問5	84.2%	<b>72.3%</b>			
	問6	53.1%	<b>39.4%</b>			
	問7	68.3%	<b>28.2%</b>			
4	問1	62.0%	<b>57.8%</b>	56.0%	<b>43.3%</b>	
	問2	47.2%	<b>36.3%</b>			
	問3	(1)	70.0%			<b>52.4%</b>
		(2)	64.3%			<b>41.1%</b>
		(3)	44.7%			<b>40.9%</b>
	問4	(1)	49.6%			<b>33.3%</b>
		(2)	54.1%			<b>41.3%</b>

## 【英語】

英語の出題形式は昨年度とほとんど変わらないものでした。しかし平均点が下がってしまったという理由として考えられるのは、「リスニングの難化」「計算が必要な問題の出題」「昨年の大問3が易問」の3点が挙げられます。

大問1は問題A3問、問題B2問で構成されるリスニングの問題ですが、今回問題Aの1問目からただキーワードがつかめれば解けるという問題ではなく、内容をしっかり理解できないと解けない問題が出題されました。ここで焦って次の問題にも響いた生徒さんもいたと思います。問題Bの1問目もやっかいでした。質問はデパートのランチフェスティバルの開催時間を問うものでしたが、放送ではまたしても直接答えが流れるのではなく、11時から3時に開催されるというのを聴き取り、4時

問と答えさせるものでした。文章で見ると分には、時間の計算は簡単ですが、英語で聴き取って計算するとなると難易度は高かったと言えます。

大問2は英文と図や表を活用して解く問題です。英語があまり得意でない人は、得点源とするところなのですが、ここでも計算を必要とする問題が出題され、時間を使ってしまい、大問4にあてる時間がなくなってしまうという負の連鎖が続いてしまったことでしょう。

大問3は昨年の方がひねりが少ない易問であるため正答率が高く、今年の問題が難問だから正答率が突出して低いというわけではないと考えられます。

大問4は例年通りのレベルでした。ただ、上述の通りはじめの方で時間を使ってしまうと読解にあてる時間が減ってしまうので、正答率がやや下がったと予想されます。

### 社会の問題別正答率

#### 【社会】

社会も大問構成は変わりませんでした。しかし、(全ての答えがそろっていて得点がもらえるといった)完全解答方式の問題が一昨年が5問、昨年が7問だったのに対して今年さらに増え10問出題されました(20問中の10問なので半分の問題にあたります)。小問正答率の太字がその問題になります。この完全解答方式の増加が、平均点を下げた理由といえます。また、教科書のすみに書かれているような細かな知識が必要とされる問題も出題され、大問4の問2では10%をきる正答率となっていました。

全体を通して資料や地図を活用する問題がほとんどであり、ただの暗記科目として認識していると対応できない問題となっています。

大問	小問	小問正答率		大問正答率	
		H30	H31	H30	H31
1	問1	95.7%	<b>72.6%</b>	65.9%	68.4%
	問2	28.4%	54.7%		
	問3	73.5%	77.7%		
2	問1	<b>53.8%</b>	<b>52.7%</b>	45.6%	28.0%
	問2	38.8%	<b>10.9%</b>		
	問3	<b>44.2%</b>	20.3%		
3	問1	<b>75.7%</b>	<b>51.5%</b>	72.4%	51.8%
	問2	75.1%	<b>24.0%</b>		
	問3	66.5%	79.8%		
4	問1	<b>41.6%</b>	<b>48.9%</b>	52.1%	43.0%
	問2	62.4%	<b>8.4%</b>		
	問3	58.5%	<b>52.6%</b>		
	問4	<b>45.8%</b>	62.2%		
5	問1	94.5%	45.5%	72.0%	58.6%
	問2	78.1%	60.0%		
	問3	60.2%	78.0%		
	問4	55.3%	51.0%		
6	問1	<b>24.4%</b>	<b>39.6%</b>	38.8%	47.6%
	問2	<b>59.4%</b>	<b>37.9%</b>		
	問3	32.5%	65.3%		

#### 【まとめ】

英語は、近年リスニングの話すスピードが速くなり、聴き取るのが難しくなっています。話の内容をしっかりとつかむには当たり前ですが日頃の訓練が必要です。英検3級のCDやYoutubeで過去問を倍速で聞くなどしていくとよいでしょう。また、読解では解答となる選択肢は、本文と同じ単語をあまり使わずに別の表現で言い回していることもあります。そのような対策としては、同じような意味の単語・熟語をセットで覚えたり、同意文を作成する問題で演習したりして慣れておくといえます。社会はとにかく地図を利用する問題が多いです。歴史でも地図を絡めた問題が出題されています。暗記をするときに地図や資料も活用するようにして英語と同様にいろいろなことをつなぎ合わせてセットで覚えるようにしましょう。